



援農状況 *Let's Activate Area AGRI*

- ・10月の援農時間は1075.5時間(内8時間は無償研修)でした。
- ・援農依頼のあった農家は11軒、援農参加者は35人でした。
- ・1月からの今年度の累計は10982時間(昨年度同期比132%)です。
- ・作業内容は、草取り、刈った稲のはざかけ、夏野菜の片づけ、収穫(ピーマン、里芋、オクラ、大根、カブ、さつまいも)、間引き(白菜、人参)、定植(レタス、京菜、にんにく)、出荷(小松菜、里芋、大根、カブ、玉ねぎ、ネギ、春菊、しょうが)、種まき(大根)、いちごの手入れなどです。

イベント情報

12月6日(木)15時~18時 勉強会兼懇親会(市役所食堂) 前半は講演会
講演会『農産物の生産状況から見た八王子の農業』
講師 八王子市役所 産業振興部主任 平沼潔氏

新しく入会された方々

野村健一さん(川口町)、米倉由美子さん(小比企町)

援農体験記

『すずしろの副産物』

日野市旭が丘 西村理佳

夏野菜が出回りだした頃、私の「すずしろ」での仕事は始まりました。ともかくにも農作業は楽しいです。体が喜んでくれる感じがします。

農作業は大変健康的です。ダイエットに筋力UP等。体に負荷のかかる労働ほど効果大なので、そういう時はラッキーと思うことにしています。

次に、行動範囲が広がったということです。私の場合、移動手段は自転車です。今まで無理だと思っていた所も、飛田さんの『行けます』の一言に勇気づけられ、いざ行ってみたらなんとかなりました。帰りは違う道を試したり、素敵な場所を見つけたり、世界が広がりました。家に帰ってからも、もう一仕事です。農家さんから頂いたお野菜や果物をいかにおいしく料理するか、あれこれ思案します。日々のお惣菜から、干し野菜、漬物、ジャム、発酵調味料まで、存分に楽しませて頂いています。すずしろを通じて、農家の皆様、会員の皆様と素敵な出会いができました事が最大の副産物です。

事務局より

- ① 援農の作業内容は ご自分で判断せず、細かいことでも農家にお聞きし、農家の指示に従ってください。
- ② 農作業中の怪我には、十分注意をしてください。作業中、包丁で左小指を手袋の上から切るけがが発生しました。

理事会・分科会だより

第8回理事会開催 11月2日(金)18:00~20:50

台町市民センター 出席者;理事計9名 監事1名

市民農園(富所)の管理運営について

利用者に気持ち良く利用頂くために、管理事項を明確にし、担当理事を置いて、使用状況等を掌握する。11月17日に理事、一般会員で区画のロープ替替え及び多目的スペースの整備を行う。(11/17に区画の柵打ちとロープ張りを終わりました)

援農に関するアンケートについて

援農活動を今後発展的に充実していく事を目的に、会員にアンケートを実施することとなり、その原案を検討協議する。

ホームページの改正について

「すずしろ22」のパンフレットが刷新され、この機会にホームページのTOPに、パンフレットの一部を引用し、掲載する事を決議する。

イベント開催について

農業祭・勉強会懇親会について各担当より説明があり、協議する。

ちょっと耳にした情報・アドバイス

日野市平山

旗野利之

玉ねぎについて

11月は玉ねぎ植えの時期です。我が家は、学校給食に野菜を出していますが、中でも玉ねぎの利用は大変多いです。玉ねぎは決して難しい作物ではありませんが、9月初旬、残暑で乾燥の中種まきですので、うまく発芽してくれるとほっといたします。

秋の間生育した苗は、この11月、霜が降りる前までに植替えとなり、今年もすずしろのみなさんに応援して頂いています。

定植する畑は、堆肥タププリがベストです。(が、現在自家製堆肥の使用については、放射能の関係で制限されることがあり、大変残念な状況です。)ひとまず定植したら、春までじっくり生育を待ちます。暖かくなるにつれて玉ねぎはどんどん育つので、肥料を何度かあげて、6~7月の収穫となります。栽培期間は10カ月と大変長いのですが、病気などもあまり発生しないので、自然と低(時に無)農薬となって、その点大いに利用したい野菜だと思います。

すずしろ祭り(10月27日)子供キャンプ場にて



立派な掲示板に、すてきなのぼりが出来ました。三味の音色も響く楽しい祭りになりました。今年参加できなかった皆様も来年こそ参加下さいね。

JA祭(11月10・11日)富士森公園

熱心に接客
新規会員 4名獲得
本当にご苦労様！



農家会員さんのMAP
唐辛子とベイリーフのブーケのプレゼント
もたくさん作りました。